



## SI シリーズ インターフェースコンバータ (USB 変換) を Linux で使用方法

弊社のインターフェースコンバータのうち USB 変換タイプの機種を Linux PC で使用する際の設定例となります。

### ○ 動作確認済環境

\* 弊社テスト環境における動作確認であり、該当 OS における確実な動作を保証するものではありません。

OS	カーネル
Ubuntu 18.04 LTS	4.15.0
Ubuntu 16.04 LTS	4.4.0
Ubuntu 14.04 LTS	3.13.0
Ubuntu 12.04 LTS	3.2.0
Debian 9.4	4.9.0
CentOS 7.4	3.10.0
CentOS 6.6	2.6.32

### ○ 対象機種

機種名	プロダクト ID
SI-35USB	"4001"
SI-35USB-2	"4001"
SI-55USB	"4002"
SI-20USB	"4003"
SI-40US	"4004"
SI-10US	"4005"
SI-20US	"4006"

\* 以下では SI-35USB (プロダクト ID: 4001) 用の設定方法を例示しております。  
それ以外の機種では、プロダクト ID を示す "4001" の部分を上記の値に変更してください。

■ **Ubuntu 18.04LTS、Ubuntu 16.04LTS、Ubuntu 14.04LTS、Debian 9.4、CentOS 7.4 の場合**  
/etc/udev/rules.d ディレクトリに下記内容の「99-si35usb.rules」というファイルを作成します。  
(root 権限が必要)

```
SUBSYSTEM=="usb", ATTR{idVendor}=="16f4", ATTR{idProduct}=="4001",  
RUN+="/sbin/modprobe -q ftdi-sio",  
RUN+="/bin/sh -c 'echo 16f4 4001 >/sys/bus/usb-serial/drivers/ftdi_sio/new_id' "
```

■ **CentOS 6.6、Ubuntu 12.04LTS の場合**  
/etc/udev/rules.d ディレクトリに下記内容の「99-si35usb.rules」というファイルを作成します。  
(root 権限が必要)

```
SUBSYSTEM=="usb", ATTR{idVendor}=="16f4", ATTR{idProduct}=="4001",  
RUN+="/sbin/modprobe -q ftdi-sio vendor=0x16f4 product=0x4001"
```

\* このドキュメント上では改行していますが、いずれの場合も改行を抜いて一行のテキストとしてファイルを作成してください。

### ■ 以下 共通

ファイル作成後、udevadm control --reload-rules でルールをリロードする (root 権限が必要) または PC を再起動します。その後 SI-35USB を PC に接続すると、/dev/ttyUSB0 のようなデバイス名でアクセスできます。但し、デバイスにアクセスするための権限は適切に設定されている必要があります。(例: sudo chmod 666 /dev/ttyUSB0 などの操作が毎回必要となります)

### ■ 通信設定

Linux での使用におきましては、通信手段・通信設定はすべてご自身で準備していただく必要があります。特に SI-40US におきましては本体側に通信設定機能がございませんので、stty 等の通信設定ソフトウェア(インストールが必要です)、またはご自身で用意なされた通信ソフトウェア上で設定をお願いします。

参考: stty を用いた SI40-US 用 通信設定の例

```
stty -F /dev/ttyUSB0 921600 cs8 -ixon -ixoff -cstopb -parenb
```

Linux 上で使用する方法に関するサポートはしておりませんのでご了承ください

以上